



# JAあそだより

平成21年10月



滝下の彼岸花(旧蘇陽町)

## ■今号16ページ主な内容

- JA阿蘇青壮部研修会、「盟友の主張」など発表
- 家庭菜園コンクール
- 各生産部会の生育・出荷状況
- JA阿蘇=ドラコン県大会で最優秀賞・団体部門でV2 ほか



## ▲阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5  
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088



**J A阿蘇青壮年部研修会  
「盟友の主張」最優秀賞に  
高森支部の田上純一さん**

J A阿蘇青壮年部は8月6日、部員・阿蘇地域振興局・J A関係者ら約70人が参加し、一の宮中央支所で青壮年部研修会を開きました。

地域農業のリーダーで重要な担い手である青壮年部が、将来を見通した自立農業経営の確立をめざすことを目的に、「盟友の主張発表」「組織活動実績発表」「手づくり看板コンクール」「J A青年の歌コンクール」の4部門で、日頃の活動を競い合いました。



各部門で最優秀に輝いた盟友のみなさん

盟友の主張では高森支部の田上純一さんが、実体験に基づいた農業経営について熱く語った「農家の長男だけん」が最優秀賞に選ばれました。(8・9ページに掲載)

当日、最優秀賞に選ばれた盟友は10月29日、熊本市のホテルニューオータニで開かれるJ A熊本県青壮年部大会でJ A阿蘇代表として出場します。

4部門の結果は以下の通り。(敬称略)▽盟友の主張発表||田上純一▽組織活動実績発表||一の宮支部▽手づくり看板コンクール||白水支部・久木野支部▽J A青年の歌コンクール||西村健児(長陽支部)

**J A阿蘇青壮年部一の宮支部  
田の畦、大豆圃場の草切り**

青壮年部一の宮支部は8月5日、地元農家より要望を受けて田の畦や大豆圃場の草切り作業を行いました。当日は小雨の中、盟友15人ほどが参加。午後6時から日没までの1時間、持参した刈払機で長雨で伸びた草を刈り取りました。

倉岡誠喜支部長は「盟友に集まってもらいありがとうございます。困っている農業者のため、また、地域のために頑張ろう」と励ましていました。

この美化活動は今年度から月1回の夕方2時間、地域の景観を良くし、青壮年部盟友個々が共同作業をすることによる連帯感、親睦等を育む目的でスタートしました。青壮年部一の宮支部では随時、地域の方の要望を募集しています。連絡先||一の宮支部事務局・井手友和(電)0967(32)2323 J A阿蘇青農部。



写真1||地域の景観保全のため頑張る青壮年部一の宮支部の盟友

写真2||贈られたトマトを受け取る高森保育園児

**居住地区の保育園にトマト贈る  
J A阿蘇南部トマト部会**

南部トマト部会は8月5日、部会員らが居住している町村12の保育園に、役員が手分けしてトマトを贈呈しました。高森町の高森保育園では、岩下雅文部会長が「みなさんの住んでいる地域で出来たトマトです。このトマトを食べて大きく育ってください」とあいさつし、代表の園児2人に手渡しました。トマトを受け取った園児らは「トマトありがとうございます」とお礼の言葉を述べました。



部会では5年前より地元保育園へ食材の提供を行っており、岩下部会長は「これからも将来を担う子供たちのためにも安心・安全な農産物を作っていきたい」と話していました。



家庭菜園コンクール  
最優秀賞に河内スミ子さん  
JA阿蘇女性部



年間約60種類の野菜を栽培している河内スミ子さん

「自給自足の暮らしを見直そう」とJA阿蘇女性部は9月3日、室原常務、女性部役員、営農部が審査員となり、女性部員が育てた野菜の家庭菜園コンクールを行いました。審査対象には管内より5人の部員の圃場が選ばれ、種類や生育状況、農薬の使用など9項目の審査が行われ、最優秀賞に南阿蘇村の河内スミ子さんが選ばれました。河内さんは、年間を通して約60種類の野菜を栽培し、自給自足・安心安全を基本に野菜を作り、多く採れた野菜は近くの直販所に出荷するなど自給率向上に努めているところが高い評価を受け、今回の受賞となりました。

受賞の喜びを河内さんは「今回の受賞を機に、もっと安心して安全



審査にあたる営農部のスタッフ

な野菜を提供していきたい」と語っていました。

同コンクールは毎年開かれており、年々、農業・農村の環境が厳しくなる中で、自給率の向上と農家経営の安定と地域作りに役立てることを目的としています。



人づくりや地域連携を評価  
水土里ネット阿蘇  
「21世紀創造運動大賞」受賞

全国土地改良事業団体連合会は、全国的に優れた活動に取り組み土地改良区を表彰する2009年度「21世紀創造運動大賞」の発表を9月11日行い、阿蘇市の水土里ネット阿蘇など9団体が選ばれました。

水土里ネット阿蘇は「田んぼの学校」や各種団体で構成する自然環境推進協議会を設立し、「クリーン作戦」を展開するなど積極的に取り組み、人づくりや地域連携に努めたことが高く評価されました。

中山安範事務局長は「受賞したことを励みに、今後も活動を続けていきたい」と話していました。



活動内容を発表する中山事務局長

青壮年部一の宮支部盟友  
小学生との農業体験交流で稲刈り



阿蘇市立坂梨小5年生20人が9月18日、今年5月に田植えした青壮年部盟友の水田で阿蘇コシヒカリの稲刈りをしました。米作り体験は9年前から青壮年部一の宮支部が小学校と一緒に、食育・総合学習の一環として行っているものです。

当日、子供たちは倉園誠喜支部長から刈り方を教わり、苦労しながらも5aを1時間程で刈り取りました。今後、学校で盟友も参加した収穫祭を行い、刈り取った稲で作ったおにぎりの試食や、白米の販売などを計画しています。



**イチゴの連続畝栽培で省力化  
肥料3割減、作業時間5分の1に**

J A阿蘇南部イチゴ部会(山辺達也部会長)では、5年前から蘇陽地区で連続畝栽培に取り組み、その結果、作業時間や経費の省力化につながっています。

連続畝栽培は前年に使用した畝の表層10㎝程度を小型管理機で耕運する方法です。通常の栽培方法は収穫終了後に整地し、施肥・耕運し、再び畝を作りますが、畝を作る時期の秋雨で定植が遅れることがありました。その反面、連続畝栽培では雨で畝が崩れることもなく、適期定植が可能となりました。

4年前から連続畝栽培に取り組み田中千男喜さんは、「作業時間は従来に比べ5分の1、肥料も畝の



上だけなのでコストが抑えられる」とメリットを話しています。

J A阿蘇南部地区担当の後藤真智指導員は「作業時間の短縮や肥料代の軽減が生産者に喜ばれることも多いが、かん水量の調整など難しい面もある」と話しています。09年度は5人が約60aでこの連続畝栽培に取り組む予定です。

(写真左上＝小型管理機で作業する生産者)

**イチゴ適期定植で  
年内収量確保  
苗の花芽分化を確認**

J A阿蘇南部イチゴ部会では2009年度イチゴの定植を前に、8月28日より1番花の花芽検鏡が本格的に始まりました。当日は同部会内の山間部に位置する蘇陽地区で行われ、生産者が持ち寄った苗を担当指導員が顕微鏡で花芽の確認をしました。

今年は昨年のように8月中旬以降の気温低下などの影響もあり、花芽が入りやすい環境下でしたが、平年並みの花芽分化の状況で定植は9月初めから行わ



れました。南部イチゴ部会は県内でも山間部に位置。年内収量確保が課題となっており、適期定植をすることで生育の遅れがないようにしています。

後藤真智指導員は「花芽分化の進み方は例年並み。今後は適期定植を最優先とし定植遅れが出ないように指導していきたい」と話していました。同部会では山間部の蘇陽地区から定植が始まり、9月20日まで定植作業が行われ、11月上旬には出荷開始となる予定です。

(写真右＝花芽分化を確認する担当職員)

**イチゴ定植順調に進む  
南部イチゴ部会**

J A阿蘇南部イチゴ部会では、9月3日より09年度イチゴの共同定植作業が始まり、同部会蘇陽支部で「さがほのか」の定植作業が

行われました。今年は梅雨明けが遅く充実した苗作りが出来るか不安な部分もありましたが、その後の天候回復により例年並みの苗が確保できました。花芽分化についても8月中旬以降の朝晩の冷え込みが順調にあり、例年並みの速さとなりました。今後は各地区で定植が進みピークは9月15日頃となりました。

後藤真智指導員は「定植後14日は重点期間として、生産者は灌水管理と肥培管理に徹底してほしい」と年内の株作りについて話しています。

09年度の生産者数は25人(前年比96%)、栽培面積4.3ha(同93%)となっており、品種構成は「とよのか」13%、「さがほのか」87%で、「さがほのか」への品種転換が目立っています。(写真左＝共同作業により定植をする生産者のみなさん)





## 高原イチゴの定植終盤戦へ JA阿蘇中部地区



JA阿蘇中部地区管内の2009年産イチゴ定植が8月30日から始まり、9月上旬まで行われました。

今年には育苗期の高温乾燥により、病害の発生が多く、また梅雨の曇天の影響もあり生育の停滞でランナーの発生が遅くなり、定植苗の不足が心配されましたが、JAの指導により順調に採苗できました。花芽の分化は8月が高温続きであつたため前年より遅くなるのではないかと思われましたが、8月下旬から夜の温度が下がったため、花芽分化も例年並みに順調に分化しました。

同中部地区の作付面積は、14ha生産者数は59人、販売高は5億円が見込まれています。出荷は早い作で10月下旬より始まり、出荷先は主に関西地方市場を重点に行われる予定です。(写真上)終盤を迎えたイチゴ定植)

問い合わせ先 JA阿蘇阿蘇町集荷場(電)0967(32)3604

## 秋メロンの出荷始まる JA阿蘇白水メロン部会

JA阿蘇白水メロン部会では9月2日より秋メロンの出荷を始めました。今年の生育は良好で、他産地には負けない出来となっています。秋メロンの作付面積はもと約2ha程度ありましたが、近年の価格低迷などにより年々生産者が減少し、2009年産は作付面積は85a、生産者3人となっています。

## 2009年産米の初検査 「全量が1等」



阿蘇市の小里倉庫で行われた米初検査

JA販売担当の上田裕樹職員は「今年も期待以上の大玉で糖度も15度以上あり、美味しく、安全安心のメロンを消費者へ届けることが出来る」と自信を持って話しています。

同部会はポジティブリスト制度を遵守するとともに、消費者の手に渡っても生産者が特定できるように生産者番号入りのシールを1玉ずつ貼って出荷しています。出荷は10月末まで行われ、約1万2000玉が産地直売分も含めて九州管内に出荷されます。

問い合わせ先 JA阿蘇南部野菜センター(電)0967(32)60076  
(写真)メロンの品質チェックを行っている生産者

JA阿蘇中部管内小里倉庫にて9月10日、2009年産米初検査が行われました。検査業務に先立ち阿蘇菅原神社の神主による収量祈願祭が執り行われ、生産者・JA阿蘇職員、関係機関から総勢50人が参加して、豊作と全量1等の祈願をしました。

初検査は生産者16人が出荷した阿蘇特別栽培米コシヒカリ1327袋の品位等級検査が行われ、全量1等の結果を得ることができました。収量は前年度の作況指数105に比べるとやや少ないものの、平均並み(99.1)の収量が見込まれています。今後、コシヒカリについては9月下旬まで収穫が続き、ヒノヒカリ、ひとめぼれと集荷が続きます。JA阿蘇としては予約依頼数16万4000俵全量集荷を目標に掲げ、集荷に取り組みます。



特産ヒゴムラサキの更なる販促を  
南部ナス部会で中間検討会



ブランド化研究会による報告

JA阿蘇南部ナス部会は9月8日、高森中央支所で生産者ら約30人が参加し、2009年産中間検討会を開きました。同部会では、これまで特産のヒゴムラサキをブランド化し有利販売につなげるために様々な販売促進や販売アイテムの開発を行っています。

吉良山友二部会長は「消費地のニーズにあった販売アイテムにも取り組み評価も出ている。今後とも病害虫管理を徹底して良質の品物を出荷できるように頑張ろう」と力強くあいさつ。当日は市場の担当者も現在の販売状況や新しいレシピの発案など要望を述べました。

今後は、県内の平坦部より秋冬ナスの出荷が始まり、販売環境としては厳しい状態になりますが、担当職員は「気を抜かないように品質管理と選別の徹底を今まで以上に心掛けて、他産地に負けないようにしてほしい」と話し、目揃え会も実施し、現在の問題点や改善点などを説明しました。また、当日はヒゴムラサキブランド化研究会による販売促進の報告も行われました。

現在、昨年同時期対比で数量84%、販売金額94%、単価1.2%と厳しい数字になっていますが、今後は量が増えていく中で他産地と比べ、いかに単価を高いところで止めるかが勝負の分かれ道になりそうです。



出荷時の留意点について説明する担当職員

## 平成19年産米最終価格について

19年産米の精算が終了し、最終追加金を平成21年7月末に入金いたしました。各品種ごとの最終価格は表1の通りです。

表 1

品種名	栽培区分					
	特別栽培米			一般米		
	仮渡金	追加金	最終金額	仮渡金	追加金	最終金額
コシヒカリ	13,020	1,123	14,143	12,520	1,069	13,589
あきげしき	11,760	1,356	13,116	11,460	1,178	12,638
ヒノヒカリ	12,000	1,462	13,462	11,700	1,253	12,953
ひとめぼれ	11,760	1,298	13,058	11,460	1,235	12,695
森のくまさん	12,000	1,217	13,217	11,700	1,147	12,847
ミルキー	13,020	915	13,935	12,520	1,070	13,590
いただき	11,160	1,125	12,285	10,860	845	11,705
夢の華	12,000	1,125	13,125	11,700	1,070	12,770
その他品種				10,140	1,166	11,306

※ 担い手(集落営農組織参加者及び、個人認定農業者)の場合  
水田経営所得安定対策交付金が昨年(平成20年7月)に10a当り平均10,180円支払われています。

※ 阿蘇市地区においては、地域とも補償により上記最終金額とは若干異なります。

お問い合わせは 営農部農産課(電) 0967(32)2223



■ドラコンJA阿蘇大会  
最優秀賞に  
西原SSの南利圭介選手

JA阿蘇購買部は9月4日、JA阿蘇久木野給油所で「ドライブウェイサービスコンテスト(ドラコン)JA阿蘇大会」を開催しました。競技の開始にあたり中尾雄二組合長が、「セルフSSの進出やハイブリットカーの普及と、SSを取り巻く環境は日々激化している。しかし価格が一緒であれば、サービスの良い所を選ばれる。選手の皆さんはSSの代表者として、非常に厳しい訓練を行われてきた。日常の訓練、営業の中で培われた態度・言葉が競技に出てくる。皆の



ドラコンJA阿蘇大会出場者



ドラコン県大会出場選手(南利選手1列目中央、齊藤選手同右から2人目)と応援の中尾組合長らJA阿蘇関係者

模範として競技して頂きたい」とあいさつしました。

今大会は、接客・点検・技術サービスの向上を図るとともに、経営の強化に資する目的を掲げ、毎年行われており、今回は管内各SS選抜の14名の職員が出場しました。

審査は、JA熊本経済連燃料課と管内SS所長が担当し、接客態度などの基本的な事から洗車や不具合箇所の説明、推進といった応用的な事まで、詳細にわたり厳しくチェックしました。競技の結果、次の職員が入賞しました。

- ▽最優秀賞＝南利圭介(西原SS)
- ▽優秀賞＝齊藤光弘(久木野SS)
- ▽優良賞＝秋吉功貴(西原SS)

▽審査委員長特別賞

＝石野りさ(長陽SS)

上位入賞2名は9月6日、JA鹿本で行われた県大会に出場しました。

■ドラコン熊本県大会  
南利選手が最優秀賞に  
齊藤選手が敢闘賞筆頭を受賞  
団体部門でもJA阿蘇が  
昨年に続き1位となる



団体部門1位のトロフィーを受ける  
JA阿蘇室原昭博常務

9月6日、第32回JA・SSドライブウェイサービスコンテスト熊本県大会が、JA鹿本の鹿本町SSで開催されました。

大会には県内JAから代表者21名が参加。JA阿蘇からは地区予選を勝ち抜いた西原SSの南利圭介選手と久木野SSの齊藤光弘選手が出場しました。

審査は接客サービス・安全サービス・技術サービス・総合印象の全4部門を詳細にわたり、県下JA

代表所長や全農、経済連の担当者17名で行われました。

3番目に競技した齊藤選手は、今年JA職員になったばかり。応援者多数の中、「優勝宣言」をして競技に臨みました。大きな声でのタイヤ点検、お客様に対して待ち時間をあかせない接客態度、不具合箇所交換の特徴ある丁寧な説明などをして完璧な演技を行いました。

15番目に競技した南利選手は現在、西原SSでアルバイトをしながら高校に通う学生。機敏な車輛の誘導や点検をこなし、日頃、西原SSで行っているあふれる笑顔の接客態度を全面に出し切りました。

審査の結果、南利選手が最優秀賞に輝き、齊藤選手が敢闘賞筆頭を受賞しました。さらに団体部門でJA阿蘇が昨年に引き続き1位を獲得しました。

購買部の松岡勝也担当職員は、「2人とも、毎日、営業終了後に遅くまで練習しました。団体賞を2年連続受賞できたのは、選手は勿論、OBの方々や選手配属のSS所長、練習に駆けつけて頂いた全ての方々のおかげです。特に2人は、予選会を含め2か月以上と長い期間の練習、大変お疲れ様でした」と、その労をねぎらっていました。



## 『農家の長男だけん』

JA阿蘇青壮年部高森支部

田上 純一

昔から周りに言われてきた。

3人兄弟の末子にして長男として生まれた。専業農家の我家で、小さい頃から農作業の手伝いをしてきました。小学生の頃は、タバコ1haと牛が5〜6頭。中学生の頃になるとたばこ、牛はやめて、ハウスを利用した春メロンを1.2ha、秋メロンを50aほど作っていました。休みの日はもちろん、学校から帰ってから時間もあれば手伝いをしていました。そうやっていくうちに、将来自分は「農業をやるんだ」と思っていました。

高校も農業高校に行き、その後は農業大学と、「農業」について学んでいきました。しかし、大学を卒業する頃になると、就農を決めた友達もいましたが、自分はまだ就農を決めていませんでした。農業の基礎は学んだが作物の流れ、流通が分からないと思い、青果市場の方に就職しました。

青果市場に3年ほど勤めていましたが、すごく良い経験ができました。青果物の集荷でいろいろな農家に行き、そこで世間話をしながら、農業をする楽しさや喜び、又、苦労や大変さといった、また自分が経験できない事を聞き、ついつい長話になっていきました。

市場には、集荷した品物、持ち込まれた品物、全国のJAなど地方から送られてきた品物、輸

入された品物と、多種多様の物があります。これらの品物の中でJAの品物は、セリ順も早く高値、もしくは、それに近い値段を付けていました。この時、「JA」という名前と信頼というのは品物を売るための武器になると思いました。

市場をやめてからは、もう少しいろんな人とふれあい、話をしたいと思い、運送会社に勤めました。そして、2年が経とうとしたときに、今まで学んできた事を無駄にしてはいけないと思い、実家に帰り就職しました。

自分が就職したとき、我家は、春メロンと夏秋は、花卉栽培へと変わっていました。ハウスは単棟ばかり1.5haぐらいあり、毎年ビニールをはいだり被せたりするだけでも大変でした。しかし、一番大変なのは自然との戦いです。毎年のようにやってくる台風には、明日から収穫を始めようとしていた花3万本がハウスが傾き、ビニールが破けて駄目になり、梅雨や秋雨の長雨で花が痛んで秀品率が落ちたり、天気が良すぎても灌漑用水の水が不足したりと、毎年何かに悩まされています。

しかし、そんな中でも良い物を作ろう。そして、少しでも高い値段で売れるよう日々がんばっています。

「阿蘇」といったら皆さん何を想像するでしょう？

「阿蘇山、温泉」といった観光地がほとんどだと思えます。しかし、農作物も他に負けない「トマト、イチゴ、メロン、なす（ヒゴムラサキ）、赤牛」などとたくさんあるのです。私が農業をしている所は、阿蘇の中でも比較的標高の高い800mほどある所にあります。いわゆる中山間地域です。

我家では、この冷涼な気候を活かし、春はメロン、夏秋は花を栽培しています。

「阿蘇」というブランドをもっと有効に使用しないものかいつも考えています。メロンは昼と夜の寒暖の差があり糖度が高く、熊本でも1、2位を争う品物だと思っています。花も同じ冷涼な気候が発色を良くし美しい花が栽培されています。

今、直売所や物産館といった農家の人たちが直接売場が増えています。お客さんとのふれあいもあり良いかと思いますが、私は反対です。結局安売り合戦なのです。直売だからスーパーより安い、するとスーパーも安くする、そして、市場でのセリ値が下がる、市場に出荷する人の売り上げが落ちる、といった悪循環だと思っております。今は景気が悪いのもありますがスーパーや居酒屋などのチェーン店も農業に参入してきています。だからこそブランドが必要になってくるのです。

「JA阿蘇のメロンだから」、「JA阿蘇の花だから」といって、消費者がスーパーに買いに行く、という環境が理想です。

そのためには、まずは部会の底上げです。自分だけ儲ければ良いではなく、品質の良いものを作るために、みんなで協力し、助け合わなければいけません。部会の会議などでは、みんな簡単に言うけれど、なかなか行動に移せません。自分がかんばって積み上げてきた技術をみんなに教えるのはイヤかもしれませんが、それを互いに教えあうという行動をすれば、その中でいろんな意見が飛び交い、おのずと部会



がひとつになると思います。

私は今、就農して6年ですが、「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」という言葉があるように、いまだに何でも聞いてみなくてはと思い、ちよつとした事でも先輩やJA職員に意見を聞いたり、相談しています。また、先進地の農家に研修に行ったりもします。

次に販売は「JA阿蘇」というブランドをまずは市場の人たちに売り込む。市場に挨拶に行ったりと当たり前のことのようにですけど、今までこれを活かしてきれてないような気がします。全国から来る品物の中で、いかに「JA阿蘇」を印象づけることができるか？市場の要望に答えることができるか？と思います。

今、花部会では、市場研修に行った夜は、JA職員、生産者、市場の職員、市場のセリに来る中卸し、小売の人といった、生産から販売までの人たちが集まって意見の交換会をしています。お酒を飲みながらなので、市場の人もお店の人も何でも言ってくれます。特に中卸しや小売の人の意見は消費者の意見と同じなのですごく勉強になります。

いろんな活動、行動を起こして、「JA阿蘇」が一流ブランドになると思います。そのためにはこれから先もいろいろと試行錯誤しながら、たくさんの方を学び、またたくさんの方とふれあい、農業をやつてよかつたと思える人生にしたいと思います。



JA阿蘇年金友の会  
ゲートボール=黒流チーム  
グラウンドゴルフ=井助雄さん優勝



第9回JA阿蘇年金友の会「親善ゲートボール」と「親善グラウンドゴルフ」大会が9月5日、一の宮運動公園で開かれ、ゲートボールに32チーム、グラウンドゴルフに224人の選手が参加しました。開会式では主催者の井上恵会長（高森支部）があいさつ。中尾雄二組合長が来賓祝辞を述べ、高森支部の本田正長選手が元気に選手宣誓を行いました。

熱戦の結果、ゲートボールは黒流チーム、グラウンドゴルフは井助男さん（産山支部）が優勝しました。その他の成績は次のとおり。▼ゲートボール準優勝 山田チーム、同3位 山田東Bチーム ▼グラウンドゴルフ準優勝 末藤政直（阿蘇町支部）、同3位 山本カツ子（同）

長陽購買店舗・久木野購買店舗の利用について(公募)

JA阿蘇の長陽店舗と久木野店舗の閉鎖により、両店舗を利用される方の募集を行います。希望される方は各支所までご連絡をお願いします。

- 物件=長陽店舗  
1. 構造…鉄骨造 スレート葺 平屋建  
2. 面積…97.7㎡  
3. 住所…阿蘇郡南阿蘇村大字河陽1895番地1
- 物件=長陽資材倉庫  
1. 構造…鉄骨造 スレート葺 平屋建  
2. 面積…40.6㎡  
3. 住所…阿蘇郡南阿蘇村大字河陽1895番地1
- 物件=久木野購買店舗  
1. 構造…鉄骨造 スレート葺 平屋建  
2. 面積…154.9㎡  
3. 住所…阿蘇郡南阿蘇村大字久石2638番地5

■利用内容・契約条件等の詳細については、面談にて協議します。

■公募先:JA阿蘇長陽中央支所(電話0967-67-0511)  
JA阿蘇久木野中央支所(電話0967-67-0035)

■公募締切日:平成21年11月30日



長陽店舗



長陽資材倉庫



久木野購買店舗





JAのお兄さんがパフォーマンス★



みんななかなかうまいネ♪

「まるごとあそび子スクール」  
服掛松キャンプ場で  
多彩なイベント

7月28・29日、山都町馬見原の服掛松キャンプ場で「まるごとあそび子スクール」のキャンプが行われました。今回はまだ梅雨が明けきらず、小雨模様の中での開催でしたが阿蘇郡市の小学校より34人が参加しました。各班の旗作りでは、それぞれいろんなキャラクターや名前を書き込み、趣向を凝らした旗ができあがり、完成した旗はポールにつけられ高々と掲げられ、お互いに自慢していました。

夕食は、JA女性部と一緒にカレーを作りしました。子供たちは馴れた手つきで材料の皮むきや切り込みをしたりしていました。

キャンプファイヤーでは、JA職員が山伏に扮して愉快なパフォーマンスで点火すると、子供たちから大歓声が上がりました。その後、ステージで班ごとの出し物が披露されました。

2日目は雨模様の中、子供たちはカッパを着込み、蘇陽峡が見渡せる長崎鼻を目指してトレッキングをしました。天候には恵まれなかったものの2日間ともトラブル等もなく無事に終了しました。

ため池の魅力を再発見し  
水の大切さを知ろう



初めて体験するカヌーに子供たちは大喜び

阿蘇土地改良区（水土里ネット阿蘇）は8月1日、阿蘇市で「ため池の魅力を再発見しよう」と、管内の子供や保護者、学校の先生などを対象に水についての学習会を開き、230人が参加しました。

学習会では「ため池は農業用水として利用されている以外に、防災機能があることやレクリエーションの場としても利用できることなどの説明がありました。子供たちは真剣に聞いていました。また、カヌー体験では初めてという子供たちが多く、魚のつかみ取りや水質調査、スケッチ、ごみ拾いなども行われ、夏休みの楽しい1日を過ごしました。

環境保全活動で水質や  
生き物を調査



簡易検査器を使って水質や臭いを調査する子供たち

阿蘇土地改良区は（水土里ネット阿蘇）は8月18日、農地・水・環境保全国上対策として、旧阿蘇町4地区の川や用排水路で水質調査と生き物調査を行い、地元の小学生など約170人が参加しました。

この活動は阿蘇土地改良区やJA阿蘇・地元区長らでつくる阿蘇環境保全活動組織の主催で、今年で2回目です。水質調査ではバックテスト（簡易検査器）で水質や臭いを調べたり、生き物調査では、前日の仕掛けを確認したりしました。

参加者の中には「夏休みの楽しい1日を過ごせた。自由研究にしたい」と言う子供もいました。



# 野球大会・ソフトバレー大会惜敗するも各選手、充実感

## ■JA県親善野球大会■



## ■JA県親善ソフトバレー大会■



※写真は上下とも開会式のひとコマ

第34回JA熊本県親善野球大会が8月1日、JA熊本教育センターで開かれ、JA阿蘇大会優勝の長陽チームが2年連続で出場しました。1回戦は各種大会で優勝している強豪JAたまな。先攻の長陽は1回、先頭バッターの片倉選手が本人もびっくりのソロホームラン。しかし、その裏、エラーもあり4失点。その後はピッチャー宮崎選手の好投や内野守備のファインプレーもあり、JAたまなに1点を追加されるも最終回に反撃。清高選手のソロホームランでまず1点。ランナー2塁で財津選手の右中間ヒットで更に1点追加するも追い上げはここまで。JAたまなに3対5で惜敗。負けはしましたが、終了後の選手の顔は練習から今日までの充実感であふれていました。

第34回JA熊本県親善ソフトバレーボール大会が9月5日、合志市総合体育館で開かれ、JA阿蘇の予選を勝ち抜いた4チーム31人の選手が出場しました。大会には県下JA・連合会の13団体32チームが8コートで予選を行い、まるごと阿蘇A(南部地区)はJA球磨とJA熊本市とJA上益城、まるごと阿蘇B(阿蘇町)はJA上益城とJA芦北とJA天草、まるごと阿蘇C(小国郷)はJA芦北とJA芦北とJA熊本うき、まるごと阿蘇D(阿蘇町)はJA八代とJA上益城とJA本渡五和と対戦。善戦するも各チーム予選敗退の残念な結果でしたが、業務終了後の練習も含め各チームともがんばり楽しい大会でした。応援者のみなさんもお疲れさまでした。

※参加チームの写真は14ページに掲載しています。

## LPガス緊急時連絡先及び保安機関の変更について(ご連絡)

日ごろより、クミアイプロ/ンをご利用いただきありがとうございます。  
JAでは、24時間・365日、クミアイプロ/ンガス利用者のガス事故を未然に防ぎ、安全・安心にご使用していただくためJA-LPガス安全化システム(あんしんキャッチ24)に加入しております。  
このたび、安全化システムにご加入いただいているお客様様については、緊急時の連絡先が下記のとおり変更となりますので、名称・連絡先のご確認をお願いいたします。あわせて、保安関係の表中にある「緊急時連絡業務」の保安機関名が変更となります。  
下記内容につきましては、平成21年9月30日15時から変更し実施いたします。  
今後ともお客様とのふれあいを大切に、ガス事故のない暮らしを守って参りますので、変わらぬご愛顧をお願いします。

### 【緊急時連絡先及び保安機関】

保安業務区分	保安業務の内容	変更前	変更後
緊急時連絡	LPガスに関する災害及び災害が発生する恐れのあることの情報を受けた場合に連絡対応します	事業所:阿蘇農業協同組合一の宮中央支所 住 所:阿蘇市一の宮町宮迫1608-1 連絡先:0967-22-1323	事業所:阿蘇農業協同組合一の宮中央支所 住 所:阿蘇市一の宮町宮迫1608-1 連絡先:0967-22-1323
		事業所:阿蘇農業協同組合山田中央支所 住 所:阿蘇郡山田村山田468-2 連絡先:0967-25-2311	事業所:阿蘇農業協同組合山田中央支所 住 所:阿蘇郡山田村山田468-2 連絡先:0967-25-2311
		事業所:阿蘇農業協同組合深野中央支所 住 所:阿蘇市深野大字深野2702-2 連絡先:0967-24-2400	事業所:阿蘇農業協同組合深野中央支所 住 所:阿蘇市深野2702-2 連絡先:0967-24-2400
		事業所:阿蘇農業協同組合黒川中央支所 住 所:阿蘇市黒川87 連絡先:0967-34-1278	事業所:阿蘇農業協同組合黒川中央支所 住 所:阿蘇市黒川87 連絡先:0967-34-1278
		事業所:阿蘇農業協同組合阿蘇中央支所 住 所:阿蘇市の石1537 連絡先:0967-32-4412	事業所:阿蘇農業協同組合阿蘇中央支所 住 所:阿蘇市の石1537 連絡先:0967-32-4412
		事業所:阿蘇農業協同組合西原中央支所 住 所:阿蘇郡西原村小森2913-1 連絡先:096-279-4524	事業所:阿蘇農業協同組合西原中央支所 住 所:阿蘇郡西原村小森2913-1 連絡先:096-279-4524
		事業所:阿蘇農業協同組合飯塚中央支所 住 所:上益城郡山都町前1029 連絡先:0967-85-1015	事業所:阿蘇農業協同組合飯塚中央支所 住 所:上益城郡山都町前1029 連絡先:0967-85-1015
		事業所:阿蘇農業協同組合高森中央支所 住 所:阿蘇郡高森町高森上原1969-1 連絡先:0967-62-2678	事業所:阿蘇農業協同組合高森中央支所 住 所:阿蘇郡高森町高森上原1969-1 連絡先:0967-62-2678
		事業所:阿蘇農業協同組合野尻中央支所 住 所:阿蘇郡高森町津留657-1 連絡先:0967-65-0311	事業所:阿蘇農業協同組合野尻中央支所 住 所:阿蘇郡高森町津留657-1 連絡先:0967-65-0311
		事業所:阿蘇農業協同組合久木野中央支所 住 所:阿蘇郡南阿蘇村久木野2638-5 連絡先:0967-67-1396	事業所:阿蘇農業協同組合久木野中央支所 住 所:阿蘇郡南阿蘇村久木野2638-5 連絡先:0967-67-1396
		熊本クミアイプロ/ン(株) 集配センター 住 所:熊本市八王寺町2番16号 連絡先:奥徳のみ	関Dジェイエイ・エルビガス情報センター LPガス集配センター 住 所:埴玉県川口市本町4-1-8 (事務:JAあんしんセンター) 連絡先:0120-182-571 (フリーダイヤル)

なお、保安関係以外ガス機器購入・修理、ガス料金等一般の問合せ(9時から17時)は、ガス販売事業所まで。



2009年11月より

JAグループ ふれあい食材 知

選べるうれしさが  
プラス!!

# JAのふれあい食材 リニューアル



主菜に、肉・魚がバランス良く届くコースです。主菜は素材がほとんどで、味付けは各家庭での調理となります。栄養のバランスがとれ、我家の食育におすすめのコースです。



基本コース

子供が好む肉類・人気食材を多く取り入れたコースで、魚(甲殻類を除く)を省いたコースとなります。



わくわくコース

専用の  
申し込み用紙で  
宅配日毎に  
お好きなコース  
が選択できます。



おまかせコース



基本コースに比べ調理にかかる手間を省く為、魚については、加工品・切身・半調理品が多く届くコースとなり、調理にかかる時間が短縮されます。



いきいきコース



1人暮らしの方におすすめのコースです。簡便性の高い商品(焼くだけ、温めるだけ、解凍するだけ)などの商品が多く届くコースとなります。

基本コース商品のみ

新オプションコース登場!

～ プラスワンコース ～

プラスワンコースは、基本コースに入っている商品の「主菜1人分(魚1切、肉100g、など)」を基本コースと一緒にお届けするオプションコースです。



基本コース



プラスワン

■1ヶ月当りのご利用金額

6,300円(税込)  
(税別価格6,000円)

■配送回数

1ヶ月・10～12回  
(基本コースと同日配送)

※詳しい内容はふれあいさんまでお尋ね下さい。



# 簡単 お申し込み!

1 クッキングアドバイス表に  
コース選択申込書をつけて  
お届けします。



2 アドバイス表を見て、  
申込書に記入してふれあいさん  
にお渡しください。



3 お申し込み商品を  
宅配いたします!



お申し込みは、最寄りのJAまで  
お問い合わせください

## 基本コース

- ほのほの(1~2人用)・・・15,750円(税込)
- だんらん(3~4人用)・・・25,200円(税込)
- なごやか(5~6人用)・・・33,600円(税込)

## わくわくコース

- ほのほの(1~2人用)・・・17,850円(税込)
- だんらん(3~4人用)・・・30,450円(税込)
- なごやか(5~6人用)・・・40,950円(税込)

## おまかせコース

- ほのほの(1~2人用)・・・16,800円(税込)
- だんらん(3~4人用)・・・28,350円(税込)
- なごやか(5~6人用)・・・38,850円(税込)

## いきいきコース

- いきいき(1人用)・・・15,000円(税込)

※上記の金額については、契約されたコース(規格)を1ヶ月継続して利用された金額となります。また、各コース(規格)を選択した場合は、当月の回数割りの合計金額となります。(1回あたりの単価は、当月の宅配回数によって変動します)



# JA阿蘇職員異動のお知らせ

氏名	新 任 令	異動年月日	旧 任 令
藤原 孝廣	総務部長	平成21年10月1日	事務電算室長
後藤 英幸	事務電算室長	平成21年10月1日	監査室長
興松 壽一	監査室次長兼監査課長(部長待遇)	平成21年10月1日	白水中央支所長
石松 雄平	小国郷中央支所長代理兼購買課長(次長待遇)	平成21年10月1日	小国郷中央支所購買課長(次長待遇)
江藤 剛一	阿蘇町中央支所長代理兼共済課長(次長待遇)	平成21年10月1日	阿蘇町中央支所共済課長
山内 今朝童	監査室長	平成21年10月1日	監査室監査課長
今村 和夫	阿蘇町中央支所議員課長(グリーンショップやまびこ店長)	平成21年10月1日	阿蘇町中央支所金融課(課長待遇)兼債権・購買未収金回収係
後藤 浩幸	白水中央支所長	平成21年10月1日	白水中央支所金融共済課長
森 英三	購買部購買課長(生活担当)	平成21年10月1日	阿蘇町中央支所購買課長(グリーンショップやまびこ店長)
山内 美幸	金融共済部保全課保全係	平成21年10月1日	阿蘇町中央支所金融課金融係兼農業者年金係
加藤 清孝	白水中央支所金融共済課長	平成21年10月1日	白水中央支所融資課融資係
清原 隆一	阿蘇町中央支所議員課果川総店所長	平成21年10月1日	阿蘇町中央支所果川金融店総店兼果川総店所長
荒木 美智代	阿蘇町中央支所金融課渉外係	平成21年10月1日	阿蘇町中央支所金融課金融係
吉田 紀子	阿蘇町中央支所金融課金融係	平成21年10月1日	阿蘇町中央支所果川金融店渉外係
中嶋 しほみ	阿蘇町中央支所金融課金融係兼農業者年金係	平成21年10月1日	阿蘇町中央支所内牧金融店総店長
後藤 弘之助	小国郷中央支所議員課小国郷総店所長	平成21年10月1日	小国郷中央支所議員課長代理
井 達子	波野支所長代理	平成21年10月1日	阿蘇町中央支所金融課金融係
川元 昭子	長陽中央支所金融共済係	平成21年10月1日	西原中央支所金融共済課金融係
後藤 美香	高森中央支所金融共済課金融共済係	平成21年10月1日	長陽中央支所金融共済課貯金係
長野 美佳	阿蘇町中央支所金融課金融係	平成21年10月1日	阿蘇町中央支所内牧金融店総店係
村上 敬	阿蘇町中央支所金融課内牧機械化店副長	平成21年10月1日	阿蘇町中央支所内牧金融店総店渉外係
井川 美香	阿蘇町中央支所金融課渉外係	平成21年10月1日	阿蘇町中央支所内牧金融店総店渉外係
川崎 和美	長陽中央支所金融共済課金融共済係	平成21年10月1日	高森中央支所金融共済課金融共済係
村上 貴代	西原中央支所金融共済係	平成21年10月1日	波野支所金融係
甲斐 千春	波野支所金融係	平成21年10月1日	一の宮中央支所金融課金融係
松本 博美	阿蘇町中央支所金融課果川機械化店副長	平成21年10月1日	阿蘇町中央支所果川金融店総店係
西村 友一	営業部課長補佐(販売係)兼農産部南部地区担当(西原駐在)	平成21年10月1日	営業部農産課農産係(南部地区担当(西原駐在))
笠野 恵利菜	阿蘇町中央支所共済課共済係	平成21年10月1日	営業部営業企画課営業企画係
上島 由香	一の宮中央支所金融共済課金融係	平成21年10月1日	長陽中央支所金融共済係
橋本 雅貴	阿蘇町中央支所金融課金融係	平成21年10月1日	阿蘇町中央支所果川金融店総店係
高村 龍司	小国郷中央支所金融課南小国金融店総店渉外係	平成21年10月1日	小国郷中央支所金融課南小国金融店総店係



阿蘇町の  
女子ソフトボールチーム



阿蘇町の  
女子ソフトボールチーム



阿蘇町の  
女子ソフトボールチーム



阿蘇町の  
女子ソフトボールチーム

★JA県親善ソフトバレー大会★  
参加チームの皆さん(本文は11ページに掲載)



## 理事会・監事会報告

### ■平成21年度第7回理事会

日時 平成21年8月28日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会

2. 組合長挨拶

3. 協議事項

委員会報告(債権管理委員会)

7月末実績について

- 1) 農林中央金庫への資本提供に関する件について(案)
  - 2) JAリフォームローン(エコプラン)の設定に伴う金利の取り扱いについて
  - 3) 全国監査機構平成20年度決算監査内部統制等に関する改善指示書に対する回答について(案)
  - 4) 貸出金について
  - 5) 北部給油所、阿蘇町中央給油所(仮称)の建設委員の決定について
  - 6) 農産物検査業務規程の一部改正について
  - 7) 平成21年度農政連会費及びWTOの拠出金徴収について
  - 8) 平成21年産出荷契約米の概算金について
  - 9) 確定給付企業年金制度の導入および退職給与規程の変更について(案)
  - 10) 平成20年度不良債権最終処理方針先結果並びに平成21年度不良債権最終処理方針先について
- 報告事項1 平成21年度上半期仮決算棚卸監査に伴う休業について
4. 閉会

### ■平成21年度第8回理事会

日時 平成21年9月29日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会

2. 組合長挨拶

3. 協議事項

委員会報告(経済専門委員会)

8月末実績について

- 1) 小国郷中央支所・阿蘇町中央支の給油所(セルフ)の名称決定について
- 2) 阿蘇町中央給油所(仮称)の事業損益等について
- 3) 購買事業部門への訴訟について
- 4) 出資減口について

5) 確定給付企業年金制度の一部内容変更について

報告事項1 平成21年度上期仮決算棚卸予備監査の実施について

報告事項2 平成21年度財務諸表等監査(予備監査)の実施について

報告事項3 第23回JA熊本県大会議案組織協議等について

4. 閉会

### ●平成21年度第4回監事会

日時 平成21年8月19日午前9時30分

場所 本所2階会議室

1. 開会

2. 挨拶

3. 議題

- 1) 平成21年度米麦等棚卸監事監査報告書(案)について
  - 2) 平成21年度上半期決算棚卸監事監査(案)について
  - 3) 非常勤監事研修について
  - 4) その他
    - ① 固定資産確認について
    - ② 監事会視察研修について
    - ③ 監事会事務研修について
    - ④ 平成20年決算監事監査回答書について
4. 閉会

### ●平成21年度第5回監事会

日時 平成21年9月17日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会

2. 挨拶

3. 議題

- 1) 平成21年度仮決算棚卸監事監査人員配置・実査場所(案)について
  - 2) 平成21年度仮決算事務監事監査日程(案)について
  - 3) 役員報酬(案)について
  - 4) 固定資産現地確認の結果について
  - 5) 米麦等棚卸監事監査回答書について
  - 6) その他
    - ① 棚卸監査事務手続きについて
4. 閉会



# 農業者の皆さん、 老後の備えは万全ですか？



老後生活は、こんなに長い！

65歳からの平均余命は…

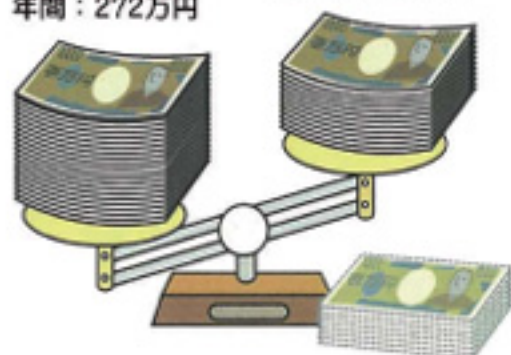


老後生活は、こんなにお金がかかる！

夫婦2人の場合

老後の家計費  
年間：272万円

国民年金だけでは…  
年間：158万円



年間：114万円(1か月あたり約10万円) **不足**

## 農業者年金は老後生活を**がっちり**サポート



### 農業者年金のメリット

- 少子・高齢時代に強い積立方式の年金！
- 終身年金で80歳までの保証付き！
- 支払った保険料は全額社会保険料控除！
- **手厚い政策支援！ 保険料に国庫補助も**

～農業者の方なら広くご加入いただけます～

一定の要件を満たす方に月額最高1万円、  
遡算すると最大で216万円

公的年金  
ならではの  
税制上の  
優遇措置

### 農業者年金の試算額

加入年齢	納付期間	試算額	
		性別	保険料2万円 保険料3万円
20歳	40年	男性	91万円 136万円
		女性	79万円 118万円
30歳	30年	男性	60万円 90万円
		女性	52万円 78万円
40歳	20年	男性	35万円 53万円
		女性	31万円 46万円
50歳	10年	男性	16万円 23万円
		女性	14万円 20万円

※この試算は、65歳までの付利率が2.30%、65歳以降の予定利率が1.55%とさせた場合の試算です。  
付利率2.30%は農業者年金において期待される運用収益をもとに設定した率、予定利率1.55%は農林水産省告示（H21.4.1第1行）により定められている率です。

### 保険料支払いによる節税効果の試算（所得税・住民税）

税率	保険料の額が		
	月額2万円 (年額24万円)の場合	月額6万円 (年額72万円)の場合	月額6.7万円 (年額80.4万円)の場合
15%の場合	36,000円	90,000円	120,600円
20%の場合	48,000円	120,000円	160,800円
30%の場合	72,000円	180,000円	241,200円

●各欄の金額が節税効果で、保険料支払い後も適用される税率に変動がないものとして試算しています。

老後の備えは、  
**農業者年金**で安心！

お問い合わせは各地区の農業委員会または最寄の支所窓口におたずねください。